

コロナ禍における多胎家庭の子育て支援 ～交流と情報交換、子どもも親も楽しく過ごせる活動の場～

双子みつごサークル cherry

コロナ課題解決型

事業費 190,850 円
助成額 117,000 円

●当初の課題・事業目的

そもそも多胎家庭は外出が困難で孤立しがちな中、コロナ禍になり、親族等のサポートも得にくくなり、外出の機会が奪われ、更に孤立していました。

同じ多胎家庭同士の集まりを開催し、親同士の交流や情報交換を促し、子ども同士が触れ合い楽しく過ごせる場を提供することで、多胎家庭の孤立化を防ぐことを目的に事業に取り組みました。



責任者 中村 啓実

●事業概要

多胎育児経験者を中心にサポート体制を作り、多胎家庭を対象とした以下の子育て支援を行い、多胎育児の情報交換ができたり子どもを安心して遊ばせられる環境作りをしました。

- ① うんどうあそび／毎月土曜日 1 回、奇数月火曜日 1 回開催、計 10 回／延べ参加組数 46 組
発達支援コーチの指導の下、発達を促す様々な動きを取り入れながら身体を動かしました。
- ② お部屋遊び／毎月第 2 金曜日定期開催、土日祝日随時開催、計 10 回／延べ参加組数 32 組
子どもをおもちゃ等で遊ばせながらママパパ同士でおしゃべりを楽しみました。
- ③ 公園遊び／毎月 1 回開催、計 3 回／延べ参加組数 7 組
感染対策として皆でお弁当を食べることは控え、子ども達のペースでお水あそびや公園あそびを日一杯楽しみました。
- ④ リトミック／偶数月第 1 水曜日開催、計 3 回／延べ参加組数 9 組
外部講師の指導により、親子でリズム遊びや手遊び、工作を楽しみました。

参加者がより活動を楽しめるように、各活動、多胎育児経験者を中心にボランティアスタッフを配置しました。



●事業の成果・工夫した点

外出や移動が困難な多胎家庭の皆さんが少しでも参加しやすいように交通の便の良い場所での開催を心がけ、また、いろいろな地域の方が参加できるように一地域だけでなく市内数カ所で場所を変えて開催しました。

交通費支給により、スタッフとして参加してくれる人が増えました。

結果的に怪我等はありませんでしたが活動に保険を掛けることができ、安心して参加してもらうことができました。

●苦労した点・今後の課題

全体的に、予定していた参加組数に達しない活動が多くありました。コロナ感染状況や気候も影響していると思いますが、開催日程や開催場所のニーズを拾いきれていなかった事、活動の周知が十分ではなかった事も原因と考えます。

今後の課題として、活動の更なる周知と、より参加しやすい環境作りを考えていきたいと思えます。また、使いたい会場の予約が取れない事でニーズに対応する事が難しかったので、会場予約の条件を改善していくことも課題です。

●責任者の感想

コロナ禍で開催を中止した時もありましたが、開催された活動では、たくさんの方のお力添えを頂き、無事終了されました。どの活動も参加の満足度は高い評価を頂いたのが嬉しいです。ありがとうございます。今回アンケートをとることで、参加者のニーズを少し知れたことも良い収穫となり、今後はそのニーズを元に、工夫をして楽しい活動、参加したくなるような活動を考えたいと思いました。